

医療

接続端末数

100～500台

公益社団法人日本海員救済会 神戸救済会病院 様



お客様プロフィール



公益社団法人日本海員救済会
神戸救済会病院

■公益社団法人日本海員救済会 神戸救済会病院

所在地：兵庫県神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号

設立：1914年11月1日

院長：藤 久和

URL：https://kobe-ekisaikai.or.jp/

神戸の地域医療を支える病院、 ネットワーク刷新で運用効率とセキュリティを強化

神戸市にある公益社団法人日本海員救済会 神戸救済会病院は、315床を有し、地域医療を支える中核病院である。2017年に導入したコアスイッチのサポート終了（2024年2月）を前に、ネットワーク環境の刷新を検討。加えて、通信インフラの高速化を図るため、2001年に敷設された光ケーブルやUTPケーブルの再整備を実施した。従来は保守・サポート体制が十分でなく、障害時の対応遅延やセキュリティ面の不安が課題だった。AMFによる診療系・情報系ネットワークの一元管理とリモート監視、充実した保守体制やコストパフォーマンスを評価し、アライドテレシスを採用。UTM導入によりネットワークへの不安を解消し、職員・患者双方が利用できるフリーWi-Fiの整備でサービス向上も実現した。今後はリモートメンテナンス回線の集約を見据えている。

導入前の課題

- 従来の保守やサポート体制が不十分
- セキュリティ面に不安

導入後の効果

- ネットワークへの不安が軽減
- セキュリティ強化で医療サービス向上

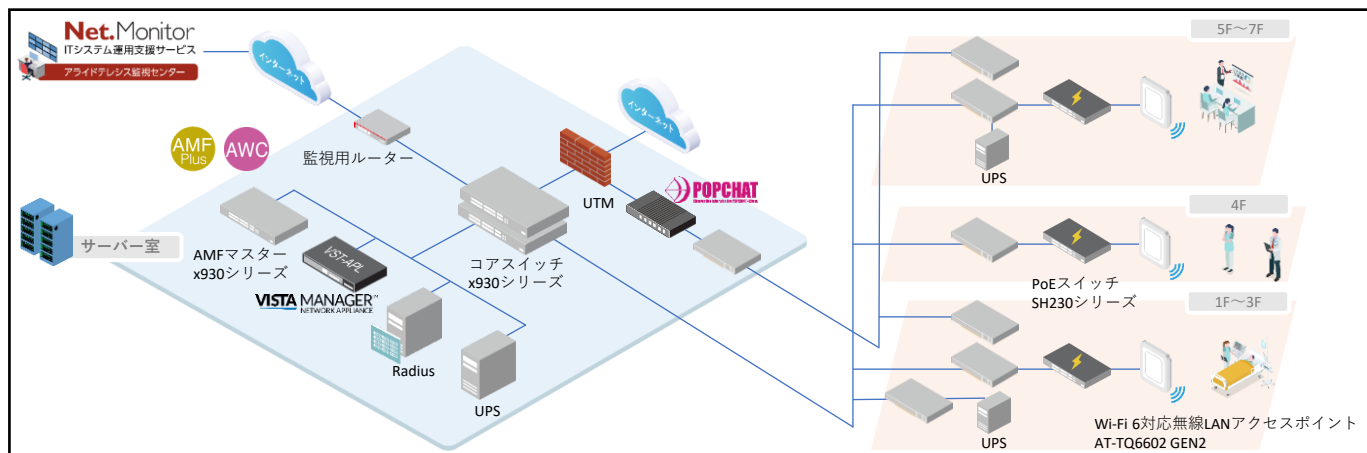
■お客様コメント

医療機関向けセミナーやユーザー会を定期開催し、医療現場の事情に通じたベンダーとしても評価しています。UTMで診療系・情報系ネットワークのセキュリティが強化され、安心して運用できるようになりました。POPCHATは患者さまだけでなく職員も利用し、サービス向上にもつながっています。今後はリモートメンテナンス回線の集約も進めたいと考えています。

■主な導入ソリューション



ネットワーク構成イメージ図



ネットワーク構築などのご質問やご相談、その他のお問い合わせ

<https://www.allied-telesis.co.jp/contact/>



アライドテレシス株式会社 <https://www.allied-telesis.co.jp/>

● CentreCOM, SwitchBlade, Secure EnterpriseSDN, AMFramework, AMFPlus, VCStack, EPSRing, LoopGuard, AlliedView, Vista Manager, AT-VA, AT-AWC, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, EtherGRID, Envigilant, Net.Service/ネット・ドット・サービス, Net.Cover, Net.Monitor, Net.Assist, アライド光, Net.CyberSecurity, ネットドットキャンパスは、アライドテレシスホールディングス（株）の登録商標です。●その他記載の会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。●記載の製品仕様および外観、標準価格および、その他情報は都合により予告なく変更する場合があります。●掲載されている写真は印刷の関係上、本来の色と多少異なる場合があります。●記載事項は2025年11月現在の内容です。●掲載内容を許可なく使用、複製、複写、改変、加工、転載等することを禁じます。